



木のぬくもりに包まれる「真壁づくり」の家 懐かしさと新しさが調和する 異国情緒ある住まい

日本古来より伝わる伝統建築の技と、最新の科学技術を取り入れたサイエンスホームの家づくり。柱や梁といった構造材を敢えて見せる「真壁づくり」は寺院建築にも用いられる日本家屋伝統の工法です。外壁は杉の焼き板を連想させる一枚ものの金属サイディングを採用。薪ストーブは、かつての暮らしで家族の集った火鉢や囲炉裏を現代的なインテリアに置きかえたもの。昔の扉につけられていた鉄やブリキ製のドアノブの質感を独自のアイアンで再現。懐かしさと科学を高いレベルで調和しました。

家のどこからも大空間に触れる、住む人にストレスを与えない心からの寛ぎを実現する住まいです。

A リビングから直接出られるウッドデッキは薪ストーブのメンテナンスを容易に。 B 夜も明るい周囲の環境のため、灯りによる効果の工夫も。
C 玄関から暖炉へのL字型の空間は土間を思わせる。テーブルを置いて庭仕事の途中にお茶をしても…。 D 玄関からリビングをのぞむ。ドアのない開放的な構造。